

低炭素社会実行計画における実態調査等報告書

令和4年3月

公益社団法人 全国産業資源循環連合会

< 目 次 >

I. はじめに.....	1
II. 実態調査の概要.....	2
1. 調査の目的.....	2
2. 調査対象及び調査方法.....	2
(1) 調査対象.....	2
(2) 調査方法.....	2
(3) 調査期間.....	2
(4) 回答状況.....	2
III. 実態調査結果の概要.....	3
1. 温室効果ガス排出量調査結果.....	3
2. 地球温暖化対策の取り組み状況.....	6
(1) 収集運搬業.....	6
(2) 中間処理業.....	7
(3) 最終処分業.....	8
(4) その他.....	9
IV. 実態調査結果.....	10
1. 会員の回答状況.....	10
(1) 業種別の回答状況.....	10
(2) 許可別の回答状況.....	10
(3) 過去に温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となった会員の回答状況.....	10
(4) 会社設立時期、事業所数.....	11
(5) 経営基盤情報.....	13
(6) 企業規模等.....	14
(7) 中間処理業の概要.....	17
(8) 最終処分業の概要.....	20
(9) 収集運搬業の概要.....	23
2. 環境関連の認証取得状況.....	26
3. 地球温暖化対策市場メカニズムへの関心.....	27
4. 地球温暖化対策の推進に関する要望.....	28
5. 温室効果ガス排出抑制対策の実施状況.....	29
(1) 省エネルギー対策（省エネ行動の実践、省エネ機器の導入）.....	29
(2) 中間処理における対策の実施状況.....	33
(3) 最終処分における対策の実施状況.....	39
(4) 収集運搬における対策の実施状況.....	43
6. 温室効果ガス排出量算定に用いる活動量の状況.....	45
(1) 産業廃棄物関連施設におけるエネルギー（電気・ガス・燃料）使用量.....	45

(2) 温室効果ガスを発生する産業廃棄物の焼却量・熔融量.....	48
(3) 廃棄物発電・熱利用量.....	50
(4) 廃棄物由来エネルギー・製品製造量.....	50
(5) バイオガス発電・熱利用量.....	53
(6) 生分解性産業廃棄物の最終処分量.....	53
(7) 産業廃棄物収集運搬車両の燃料使用量.....	55
V. 温室効果ガス排出量算定結果.....	57
1. 実態調査結果に基づく温室効果ガス排出量.....	57
(1) 温室効果ガス排出量の算定対象.....	57
(2) 温室効果ガス排出量算定方法.....	57
(3) 温室効果ガス排出量算定結果.....	58
2. インベントリ等に基づく温室効果ガス排出量.....	67
(1) 温室効果ガス排出量算定の考え方.....	67
(2) 温室効果ガス排出量算定方法.....	67
(3) 温室効果ガス排出量算定結果.....	68
3. 温室効果ガス排出量の評価.....	73
(1) 収集運搬業.....	73
(2) 中間処理業.....	74
(3) 最終処分業.....	75
(4) 業務部門.....	76
(5) 全体の排出量.....	77
VI. 環境自主行動計画策定後の対策実施状況の変化.....	79
(1) 廃棄物発電・熱利用量の経年変化.....	79
(2) 廃棄物由来製品製造量の変化.....	80
(3) ディーゼルハイブリッド車の導入台数の変化.....	81
(4) バイオマス燃料使用量の変化.....	82
VII. まとめ及び今後の課題.....	83
1. 調査のまとめ.....	83
2. 今後の課題.....	89
VIII. 全国産業資源循環連合会 低炭素社会実行計画（平成 30 年 4 月 1 日団体名称の修正）	